



Title: この秋、図書館は少しうるさいでしょう

1週間休館した蔵書点検明けの9日（火）、中央図書館は久々に混み合いました。雑誌プレゼントのスタート日でもあったためか開館前から人が並び、貸出人数は200人を超えました。普段でもこのくらいの状態だったらいいのですが……。そんな日々を夢見て地道に努力を続けたいと思います。

#### ■重要文化財は国指定

まずは訂正から。前回のコラムで、中央図書館所蔵の菅江真澄資料について「県の重要文化財」と書いてしまいました。言葉の使い方に慎重であるべき図書館員として恥ずかしい間違いです。お詫びして訂正します。正しくは「秋田県指定有形文化財」です。

文化財保護法第27条に「文部科学大臣は、有形文化財のうち重要なものを重要文化財に指定することができる」とあるとおり、重要文化財は国（文部科学大臣）の指定にかかるものです。県市など地方公共団体が条例によって指定する文化財は「〇〇県（市）指定文化財」となります。重要な文化財という意味でつい重要文化財と言ってしまふことが、放送や活字でもあったりしますが、「県（市）の重要文化財」というものではありませんのでご注意を。いや、間違っただのは自分なのですが。

#### ■大規模修繕スタート

中央図書館は昭和58年に竣工しました。今年32年目、いろんなどころにガタが来る頃です。というわけで、9月8日（月）から中央図書館の大規模修繕が始まっています。

今回は、屋上の防水工事や正面広場（アプローチ）の舗装改修などを行います。実質的な工事は来週から10月末くらいまでの見込みです。その間ずっとではありませんが、ドリルやカッターなどの工事音や振動がうるさい日もあります。また、三カ所ある入口の一つが使用できないとか、工事車両のために駐車スペースが一部制限される日もあります。

図書館は極力休館したくないので、心苦しくも利用者の皆さんにある程度我慢を強いることになりそうです。工事予定はできるだけ詳しく事前にお知らせしていくつもりですが、あらかじめご理解ご協力をお願いする次第です。

#### ■オモシロ本を紹介します

先日、返却図書の中にリースマン『孤独な群衆』があるのを見かけました。このコラムの第4回で紹介した本です。コラムを読んで借りてくれたのならうれしいのですが、そうでなくても利用者が息の長い名著（翻訳刊行は50年前！）を読んでもくれるのは、図書館員としてとてもうれしく、誇らしく感じます。

そういうわけでこれからはなるべく、大館市立図書館の蔵書から面白い本を紹介していこうと思います。新刊やベストセラーでなく、あまり目立たず読まれていないけれども面白い旧刊を取り上げるつもりです。名著とは限りませんので悪しからず。

今回は、正式名称研究会著『正式名称大百科』（TOブックス、2010年9月、049/セ）。念のためカッコ内を説明しておく、順に出版社、発行年月、請求記号です。

この本には、いろいろなモノの意外な正式名称がたくさん出てきます。大百科と銘打つ割には215頁と簡単に通読できるのも、敷居が低くて好感度大。出雲大社の正式な読みは「いずもおおやしろ」、伊勢神宮の正式名称は単に「神宮」って、知ってました？海の妖精クリオネは「ハダカカメガイ」。え、貝だったの？キングサーモンは「マスノスケ」だって……面白すぎる。（陽）